

施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (2) 健康づくり・地域医療の充実

(評価担当者)

健康福祉部長

井分 信次

■ 基本施策が目指す姿

市民一人ひとりが、地域において、生き生きと健康に暮らしています。

■ 関連する分野別計画

亀山市健康・医療推進計画

■ 成果指標

		単位	現状値		実績値					目標値
					H29	H30	R1	R2	R3	
1	がん検診の受診率(肺がん)	%	33.2	H27	32.4	31.5				35.0
2	がん検診の受診率(胃がん)	%	21.8	H27	22.0	20.9				25.0
3	がん検診の受診率(大腸がん)	%	32.9	H27	30.2	29.6				35.0
4	医業収支比率	%	77.6	H27	82.4	82.9				99.8
5	救急搬送の市内医療機関受入率	%	50.2	H27	47.3	40.7				50.0以上
6	国民健康保険被保険者1人当たり医療費の増加率(対前年度)	%	4.1	H27	2.6	3.0				4.0以下

■ 市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	健康教室や各種検診の内容が充実している	重要度	1.30	1.25	健康教室や各種検診については、広く周知を行いつつ、無料の受診券を配布するなどの手立てを講じたが、前回より、重要度・満足度ともに下降したため、行動変容を起こさせる周知方法や教室の内容の充実が必要である。医療機関の充実については満足度が前回よりやや上昇しており、医療センターの医師の確保や医療機関等との連携により、取り組んだ成果であると考えられる。
		満足度	0.46	0.44	
2	医療機関が充実している	重要度	1.53	1.51	
		満足度	▲ 0.27	▲ 0.24	
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

■ 総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B	市民一人ひとりが生き生きと健康に暮らすことを目指し、公共施設の敷地内全面禁煙や市独自の健康マイレージ制度の構築について、「健都さぶり」プロジェクト会議を開催した。また、健康な暮らしを支援するために、感染症の予防として、医療機関や関係部署と連携し、予防接種の勧奨を行い、市民の健康を推進するとともに、がん検診の受診券や無料券の発行、ピロリ菌検査・歯周病検診の助成を行い、疾病予防と早期発見・治療の推進に努めた。がん検診の受診率、救急搬送の市内医療機関受入率については下降しているものの、医療センターの経営状態は改善傾向にある。また、医療費適正化の取り組みにより、国民健康保険被保険者1人当たりの医療費の増加率は目標値以下となっており、これらの状況から、総合判定をBとした。
まずまず進んでいる	
反省点・課題	
疾病予防と早期発見・治療の推進については、健康教室や各種検診において、市民向け広く周知を行い、無料券や受診券を配布するなど受診しやすい体制を取っているが、がん検診の受診率は、下降しており、さらに受診率が向上するように取り組み、早期発見、重症化予防に努める必要がある。また、地域医療提供体制の整備については、今後も引き続き、三重大学との連携を深めることで、継続して医師の確保に努め、地域医療学講座の活用によって、新たな研究を進めるとともに、地域の医療機関や多職種間の情報を共有して連携強化に努める必要がある。また、医療センターの経営状態については、改善傾向にあるがまだまだ途上であり、今後もさまざまな手法により改善させる必要がある。	

今後の展開方針

市民一人ひとりが生き生きと健康に暮らすことを目指し、「健都さぶり」プロジェクトにより関係部署が連携し、市独自の健康マイレージ制度を利用して、自主的に健康づくりの取り組みができるようにするなど健康都市「かめやま」の実現に向け、引き続き取り組みの充実・強化を推進していくものとする。また、市民の立場に立った地域医療体制の充実を図り、地域の医療機関や多職種と連携し、地域医療学講座を活用するとともに、医療センターの経営改善を更に進めることにより、市民が地域において、生き生きと健康に暮らすことができ、安心して医療を受けられるまちを目指す。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		健康な暮らしの支援					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	「感染症の予防として、特に、感染力が強く全国的に流行した麻しんについては、関係機関と連携して予防接種率の向上に取り組んだ。また、新たに三重とこわか健康マイレージ事業と連携した亀山市健康マイレージ事業を開始するとともに、健康づくり応援隊の支援や体操教室等を行い地域や個人での健康づくり活動を支援した。」		評価	「関係部署と連携して定期予防接種を勧奨することによって、引き続き高い接種率を維持し感染症の地域での流行を防止できた。(MR2期接種率99.4%)また、健康マイレージ事業や体操教室等を行うことで、市民の主体的な健康づくり活動を推進することができた。」		
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	3174	高齢者人間ドック・脳ドック事業		標	2,779 / 2,550	A	B
	4002-1	一般事業(保健衛生事業)		標	883 / 730	A	B
	4072	健康増進事業		標	12,399 / 9,624	A	B
	4005	健康づくり事業		標	2,102 / 1,383	B	B
	4008	予防衛生事業		標	152,873 / 139,355	A	A
事業以外 の取組	内容					活動	成果

施策の方向		疾病予防と早期発見・治療の推進						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	がん検診の無料券や受診券の配布や特定健康診査時に保健指導を行うなど未利用者対策のプログラムの見直しを行うとともに、亀山医師会・医療センターと連携し糖尿病重症化予防事業を開始した。また、新たに、若年早期の胃がん予防対策として市内中学3年生を対象としたピロリ菌尿検査及び治療費の費用助成を行った。			評価	がん検診や特定健康診査等の受診率は、下降傾向であったが、糖尿病重症化予防事業やピロリ菌尿検査及び治療費の費用助成を開始し、疾病予防と早期発見・治療の推進を図ることができた。		
		まずまず進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17041	特定健康診査・特定保健指導事業			主	31,350 / 22,196	A	C
	17042	がん検診推進事業			主	101,580 / 88,908	A	B
	17043	予防接種費用助成事業			主	7,220 / 6,191	A	A
	4076	特定健康診査事業			標	42,908 / 31,103	A	B
事業以外の取組	内容						活動	成果

施策の方向		地域医療提供体制の整備						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A		三重大学へ寄附を行うとともに、亀山地域医療学講座による医師の確保、多職種連携のための会ICTシステム導入や休日・夜間・年末年始応急診療体制の継続、指導救命士の養成などに取り組んだ。また、派遣された医師が、医療センターをフィールドとして、実際の医療現場で、研修医や医学実習生を受け入れ、指導・教育活動を行った。		三重大学に対し寄附を行うことで、三重大学との連携を更に強化し、安定的に市立医療センターの医師を確保し、三重大学亀山地域医療学講座の継続設置を行った。また、在宅医療の推進、休日・夜間、年末年始応急診療体制の維持継続、指導救命士の養成を行うなど地域医療体制の強化が図れた。				
順調に進んでいる								
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果	
	17044	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	主	31,200	/ 31,200	A	A	
	4006	救急医療対策費	標	9,493	/ 9,155	A	A	
事業以外の取組	内容						活動	成果

施策の方向		医療センターの機能強化と経営健全化								
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】					
B		活動	平成22年度に行った施設全体調査の結果に基づき、順次老朽化した施設設備の改修等を行ってきたが、本年度については、基幹的設備である受変電設備及びボイラー設備の更新をした。 また、稼働率が高く、市民のニーズに合った地域包括ケア病床を4床増床した。			基幹的設備である受変電設備及びボイラー設備が更新され、医療センターの機能強化が図れた。また、地域包括ケア病床を拡充させ、市民ニーズに合った病床運用が可能となり、また、高い病床稼働率により、病院の経営健全化にも寄与できた。				
まずまず進んでいる										
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果	
	17046	医療センター設備改修事業			主	21,793 / 21,711		A	A	
事業以外の取組						/				
		内容							活動	成果

施策の方向		安心できる公的医療保険制度の運営						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B		活動	国民健康保険事業について、データヘルス計画に基づく保健事業の実施による医療費の適正化、国民健康保険税の収納率向上に取り組むとともに、制度改革に対応し次年度の税率を改定し、健全な運営に努めた。また、後期高齢者医療事業について、三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の賦課徴収事務など市の事業を適切に実施した。	評価	医療費適正化の取組により、国民健康保険被保険者1人当たり医療費の増加率は3.0%で、目標値の4.0%以下に抑えることができた。また、次年度の税率を改定することにより、一般会計からの法定外繰入の解消を図るとともに、国民健康保険税の現年収納率は93.8%、後期高齢者医療保険料の現年収納率は99.3%で、公的医療保険制度を健全に運営した。			
まずまず進んでいる								
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
						/		
事業以外の取組						/		
	内容						活動	成果